

## 平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		05 01 21	中期総合計画主要施策番号		2-06 3-02	担当課	部・課	衛生部医療政策課	
事業名		看護師等養成所施設・設備整備事業					内線	2621	
							E-mail	iry@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	看護師等の新規養成の充実を図るため、養成所の施設・設備整備に対して助成を行う。							
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] 看護職員が不足している。 また、医療の専門化・多様化・高度化等に対応して、より高度な知識を有する看護職員が求められている。 [原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] 少子化の進展により新卒者が減少するとともに、出産、子育て等による離職・休職が多い。 医療の専門化・多様化・高度化等への対応が必要となっている。 [課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] 養成所の安定的な運営と設備の充実により、看護職員の新規養成数の確保と、より高度な知識を有する看護職員の養成が必要である。							
		養成所の安定的な運営と設備の充実により、看護職員の新規養成数の確保と、より高度な知識を有する看護職員の養成が必要である。							
		事業内容	看護師等養成所の施設・設備整備事業に対する補助 施設、設備:補助率 6/10 (市町村・公的団体の場合【県】6/10、民間の場合【国】5/10、【県】1/10)						
	実施期間	S57 ~	根拠法令等	医療提供体制施設整備補助金交付要綱・医療提供体制設備整備補助金交付要綱					
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	養成所の安定的な運営と設備の充実により、看護職員の新規養成数の確保と、より高度な知識を有する看護職員を養成する。		施設・設備整備事業を必要とする養成所に対して助成する。			20年度は、施設・設備整備を行う1養成所に対して助成した。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	56,166	114,821	0	国庫・県単 国庫・県単		
	決 算 額 (B)		千円	56,115	114,164		実施方法 補助		
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	54,824	18,480	0	歳出節別内訳等 補助金:114,164		
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.20	0.20	0.00	(単位: 千円)		
	概算事業費 (B(H21はA)+C)		千円	57,543	115,594	0			
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	施設整備養成所		箇所	1	1	0			
	設備整備養成所		箇所	1	1	0			
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・施設の老朽化等が進んでいる養成所もあり、今後も一定のニーズはある。 ・看護職員の確保対策については、県が実施すべき事業である。 ・交付要綱に定められた方法により助成しているため、当面、有効性、効率性を高める余地はないが、県の上乗せ部分については見直す余地がある。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	課題の総括		当該事業により、養成所の安定的運営及び設備の充実を図ることで、新規看護職員養成数の安定的確保や高度知識を有する看護職員の養成を継続的に行う必要がある。 なお、当該事業に対する県の関与について、国、県及び事業者の役割分担と他の事業との均衡を考慮し、21年度に県の上乗せ部分について見直しを行う。						